



令和7年度 南小学校・南中学校 第20回 教育実践研究発表会 ～これまでのご協力に感謝いたします～

11月23日（日）勤労感謝の日、教育実践研究発表会を開催しました。平成16年度に南中が授業を自主公開したことからスタートとした発表会も今年で20回目、南小開校とともに小中連携教育が始まってからは、節目となる10年目を迎えました。今年度は、「『対話』から新たな価値を創るー教科や学校の枠を越えた学びのデザインを通してー」という研究主題で進めてきた研究の3年次となるまとめの発表でした。

本校では、「総合的な学習の時間」の授業を3年1組で、「理科」の授業を6年1組で公開しました。これまで、早稲田大学名誉教授小林宏己先生をお迎えして小中合同授業研究会を行ったり、協働で教材や掲示物、授業の計画案を作成したりするなど、小・中の職員で連携しながら研修を進めてきました。当日は、県内外から多くの参観者が訪れましたが、その中でも子供たちは、いつも通り物怖じせず友達と意見を交わしたり大きな声で発表したりと、いきいきと授業に取り組んでいました。「自分の学習課題の解決に向けて、主体的に取り組むことができていますね」と、多くの先生方からお褒めの言葉をたくさんいただき、子供たちの授業に向かう姿勢など、その成長ぶりを誇らしく感じました。また、今年度も、早朝より駐車場案内や受付、接待等、発表会の運営面において、PTA役員・実行委員の皆様にたくさんのお力添えをいただき感謝申し上げます。そして、子供たちの調べ学習や当日の授業にご協力いただきました大洗うみ・まちコミュニティスクールの学校運営協議会委員の皆様、地域の皆様にも感謝申し上げます。

この研究発表会は、今年度をもって完結となります、これまでの長年の研究の成果と課題をもとに、新たな形で小・中の職員で連携しながら、子供たちのためによりよい授業づくりに努めて参ります。



3年1組

授業者:五十川 淳一

聞いて！しらべて！大洗はかせになろう

社会科「農家の仕事」の学習や郷土テキスト「大洗道」の調べ学習をもとに、「○○はかせ」になることを目として学習を進めてきました。本時では、その調べたことを相手に分かりやすく伝えるために、「□□名人」になって工夫して表現することを目標にして授業が行われました。子供たちは、自分の得意な教科や分野で身に付けた力を活用したり、地域の方から直接指導していただいたりしながら、主体的に学習に取り組むことができました。振り返りの時間では、大勢の参観者の前でもいきいきと学習の成果と次時の計画を発表する姿が見られました。



6年1組

授業者:海老根 麻斗

土地のつくりと変化(防災×STEAM)

これまでの理科の授業では、地域の地形や津波の仕組み等について学んできました。そして自分たちの地域では、どのような備えが必要か探求的に話し合い、課題を整理しました。本時では、その課題をもとに、プログラミングや実験、アートチームなど、5つのグループに分かれて意見を交流させながら、防災教材を制作していました。ホワイトボードを活用し、「どうすればより分かりやすく伝わるか」など、思考の過程を可視化しながら、大洗町の防災について考えを深めていくことができました。

